



JNLA Z8010ZP



試験報告書

有限会社 相互商事 殿
鳥取県鳥取市湖山町北3丁目468

試験品内容: [種別] JIS A 5308:2024 附属書JA 「プレキャストコンクリート用骨材」
細骨材 砂 (陸砂)
[採取日] 2024年5月29日
[産地] 鳥取市湖山町地内
[採取場所] 鳥取市湖山町地内
[製造業者] (有)相互商事
鳥取市湖山町北3丁目468

試験項目: 1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験 (化学法)

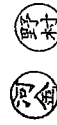
受領日(試料持込日): 2024年6月3日
試験日: 2024年6月3日 ~ 2024年6月7日
試験結果: 次頁以降のとおり
特記事項: -

試験場所: 一般財団法人 日本品質保証機構 関西試験センター 試験室
(注) 1. 本試験品は、試験申込書により試験室(場所)へ持ち込まれたものである。
2. 試験品内装材については、試験申込書提出の数量(申込書)に基づき発給したものである。
3. 試験結果は当該試験品に対しての結果であり、製品すべてを保証するものではありません。

試験の結果は、上記のとおりであることを報告します。

2024年6月20日

大阪府東大阪市水走3丁目8番19号
一般財団法人 日本品質保証機構
関西試験センター



2471



技術管理者 那良 時義
向、報告書には改ざん防止策を施しています。
一般財団法人 日本品質保証機構

1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験 (化学法)

(1)試験方法 JIS A 1145:2022「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)」による。

- (2)判定基準 a) 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L以上で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の範囲では、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)未満となる場合、その骨材を「無害」と判定し、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)以上となる場合、その骨材を「無害でない」と判定する。
b) 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L未満で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の場合、その骨材を「無害」と判定する。
c) アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L以上の場合には判定しない。

(3)試験結果

Table with columns: 繰り返し回数, 試料量(g), 反応時間(hr), アルカリ濃度減少量(Rc) (mmol/L), 溶解シリカ量(Sc) (mmol/L), 吸光度, 平均値, 希釈倍率, 判定. Includes a graph of Sc vs Rc.

Re = (20 x 0.05 x F / V1) x (V3 - V2) x 1000
Sc = 20 x n x A x 1 / 28.09

Re: アルカリ濃度減少量
F: 0.05mol/L塩酸標準液のフラグター=1.000
V1: 希釈試料溶液からの分取量
V2: 希釈試料溶液の測定に要した0.05mol/L塩酸標準液量
V3: 希釈した空試料溶液の測定に要した0.05mol/L塩酸標準液量

(参考)

